

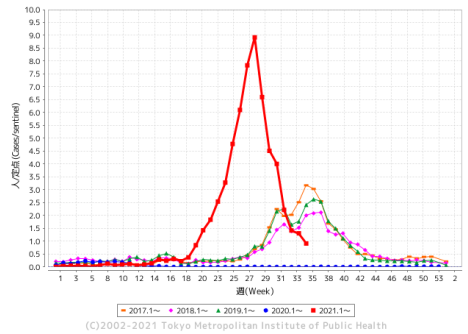


～あんず通信では、感染症の流行状況を毎月お知らせしています～

【感染症だより】

～RS ウイルス流行について～

今年は全国的に RS ウイルスが流行しました。ピーク時は例年の2倍以上の流行（右図：東京都定点測定、赤いグラフが2021年）でしたが、収束に向かっていきます。RSにはワクチンが無く抗生物質も効きませんが、ウイルスの特徴として一時的に流行した後、自然に収束します。インフルエンザも、毎冬一定数の人数が感染し終わると自然に収束します。インフルエンザ流行中は「ウイルス干渉」によってRSウイルスは流行しません。また逆も然りです。つまり、昨年は新型コロナウイルス流行によってインフルエンザやRSウイルス干渉によって抑制されました。今年は0～2歳のRS未罹患児が一度に罹って大流行したと言えます。今年RSが大流行したことを踏まえると、今冬はインフルエンザが流行するかもしれません。



～新型コロナウイルスについて～

東京都では9月12日までの緊急事態措置が30日まで延長の予定となりました。直近7～8月の東京都の状況をみてみますと8月末から実行再生産数が1を切って減少に転じ、ピークアウトしています。8～9月に自宅療養者が増えましたが、自宅療養中でも必要時は発熱外来やコロナ診療が可能な医療機関を受診しましょう。また、自宅に籠っているとストレスが溜まって屋内で怪我をする場合もありますので、周囲に人がいない事を確認して屋外で気分転換しましょう。

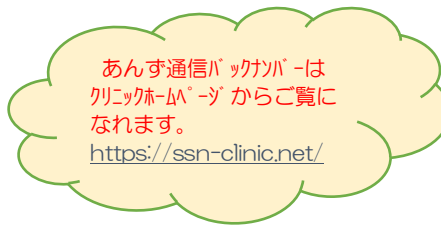
～新型コロナワクチン副反応について～

8月25日厚労省の発表で、因果関係不明ですがワクチン接種後1093名の死亡事例と3867名の重篤な副反応事例が報告されました。日本国内で10代以下の健康な子どもでは新型コロナ感染による重症化や死亡例は認めていません。若年者（特に男性）では少数ですがワクチンの副反応で心筋炎や心膜炎のリスクがあり、ワクチン接種については慎重な判断が必要です。

表：8月しみず小児科・内科クリニックで診断された流行性の感染症

	感染症	患者数
1	胃腸炎	188
2	溶連菌	56
3	RSウイルス	21
4	伝染性膿痂疹(ピピ)	10
5	突発性発疹炎	2
6	アデノウイルス咽頭炎	1
6	手足口病	1
8	おたふくかぜ	1

※コロナ流行中、当院では感染症検査は防護服着用し必要最低限実施しています。



文責：清水マリ子

～あんずからのお知らせとお願い～

- ★**空き状況**をWebで確認出来るようになっていきます。しみず小児科・内科クリニックの予約ページかホームページから確認出来ます。ご予約は必ずお電話でお願い致します。
- ★**キャンセル**をされる場合は、**留守番電話で構いませんので当日8：30までに必ずご連絡**をお願い致します。利用ご希望の方が1人でも多く入れるようご協力をお願い致します。

★病児保育室あんずでの新型コロナ対策★

病児保育室内では、マスク、手洗い、消毒、換気など定期的に行っています。また、出来る限り隔離室を利用し、子ども同士が同じ部屋にならないよう配慮しております。ご予約の際には、感染予防のために新型コロナウイルス感染者との接触歴や流行地に行っていないか等お聞きしております。ご協力のほど宜しくお願い致します。

